

パートナー企業と交流会

セイコー運輸 ■ 情報交換し課題解決



【大阪】セイコー運輸(宮高浩社長、大阪市住之江区)は3日、大阪市で独自の輸送サービス「住むーぶ」のノウハウ指導契約と商標使用許諾契約を結んでいるパートナー企業と交流会を開いた。

交流会は、パートナー企業が一堂に集まり、情報交換を通して営業活動や業務上の課題解決に役立ててもらおうと初めて企画。東京都や神奈川県、兵庫県などから10社が参加した。

自社の特徴や強みなどを発表した後、日頃の悩みや今後の営業ターゲットについて意見交換。「空いた時間、車、スタッフをいかに活用していくかが課題」「重量物をメーンに扱ってきた。スタッフが高齢化して作業をこなせなくなってきた」「大手の下請けだと、ある日突然、契約を打ち切られることに危機感を持っている」といった声が上がった。

セイコー運輸は昨年1月、要介護者や高齢者に特化した引越サービス「シルバー住むーぶ」と時間課金制トラックレンタルサービス「タイムレンタル住むーぶ」のサービスエリア拡大課題や今後の営業ターゲットについて意見交換

に向け、全国の運送事業者と提携。現在、13都府県をカバーしており、今後もネットワークを広げていく方針。

(水野 正博)

認証制度活用よびかけ

一致団結で現状打開を

JLホックス大阪

【大阪】物流ニッポンP7 2012/2/13

阪物組合(法令順守)徹底など厳しい状況だ。東日本大震災で被災された方々が協力し助け合っている姿を見習い、ホックスも一致団結して現状を乗り切っていく。自協組内取引を活性化

阪物組合(法令順守)徹底など厳しい状況だ。東日本大震災で被災された方々が協力し助け合っている姿を見習い、ホックスも一致団結して現状を乗り切っていく。自協組内取引を活性化



JL認証制度の概要について説明する新田理事

大協会長 成田山不動尊で豆まき 被災地復興と交安祈願

【大阪】大阪府トラック協会の坂本克己会長は3日、大阪府寝屋川市の成田山大阪別院明王院で行われた節分祭に参加し、東日本大震災の被災地復興と交通安全を祈願した。

午前10時30分から行われた「追儺(ついな)豆まき」にはNHK連続テレビ小説「カーネーション」でヒロイン役を務める尾野真千子さん、年男の松井一郎、大阪府知事も参加。松井氏は「政治の世界には鬼がた負けないように」と意気込みを述べた。

三田運送会長 叙勲受章祝賀会

シヨンの寺浦実社長、兵庫県トラック協会の福永征秀会長、丘後重

東を手渡した。(佐藤 新一)

こ橋下敬・大